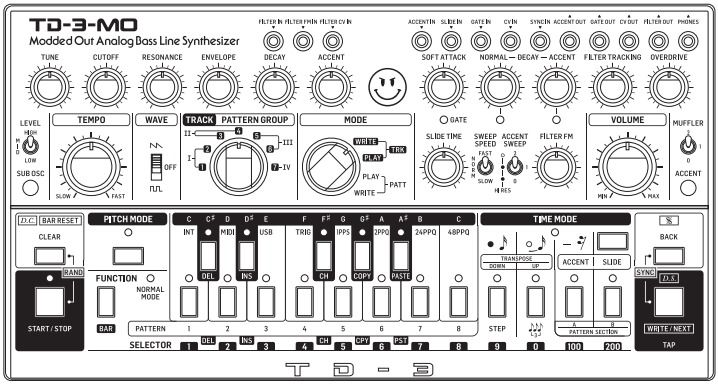
# クイックスタートガイド

JP




## TD-3-MO

"Modded Out" Analog Bass Line Synthesizer with VCO,
MIDI-Controllable VCF and Sub-Harmonics Oscillator



behringer

## JP 安全にお使いいただくために

CAUTION
RISK OF ELECTRIC SHOCK!
DO NOT OPEN!
ATTENTION
RISQUE D'ÉLECTROCUTION !
NE PAS OUVRIR !

**注意**

感電の.恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキングプラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用の前に良くお読みください。

**注意**

**1.** 取扱説明書を通してご覧ください。

**2.** 取扱説明書を大切に保管してください。

**3.** 警告に従ってください。

**4.** 指示に従ってください。

**5.** 本機を水の近くで使用しないでください。

**6.** お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。

**7.** 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。

**8.** 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

**9.** ニ極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。ニ極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広くなっています。アースタイプの三芯プラグにはニ本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電器技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

**10.** 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

**11.** すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。

**12.** 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるよう手元に設置して下さい。

**13.** 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

**14.** カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用しての運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

**15.** 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、 電源プラグをコンセントから抜いてください。

**16.** 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。

**17.** 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

**18.** ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

**19.** 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

**20.** 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

**21.** 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。





### 法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Aston Microphones および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または-登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2023 無断転用禁止。

### 限定保証

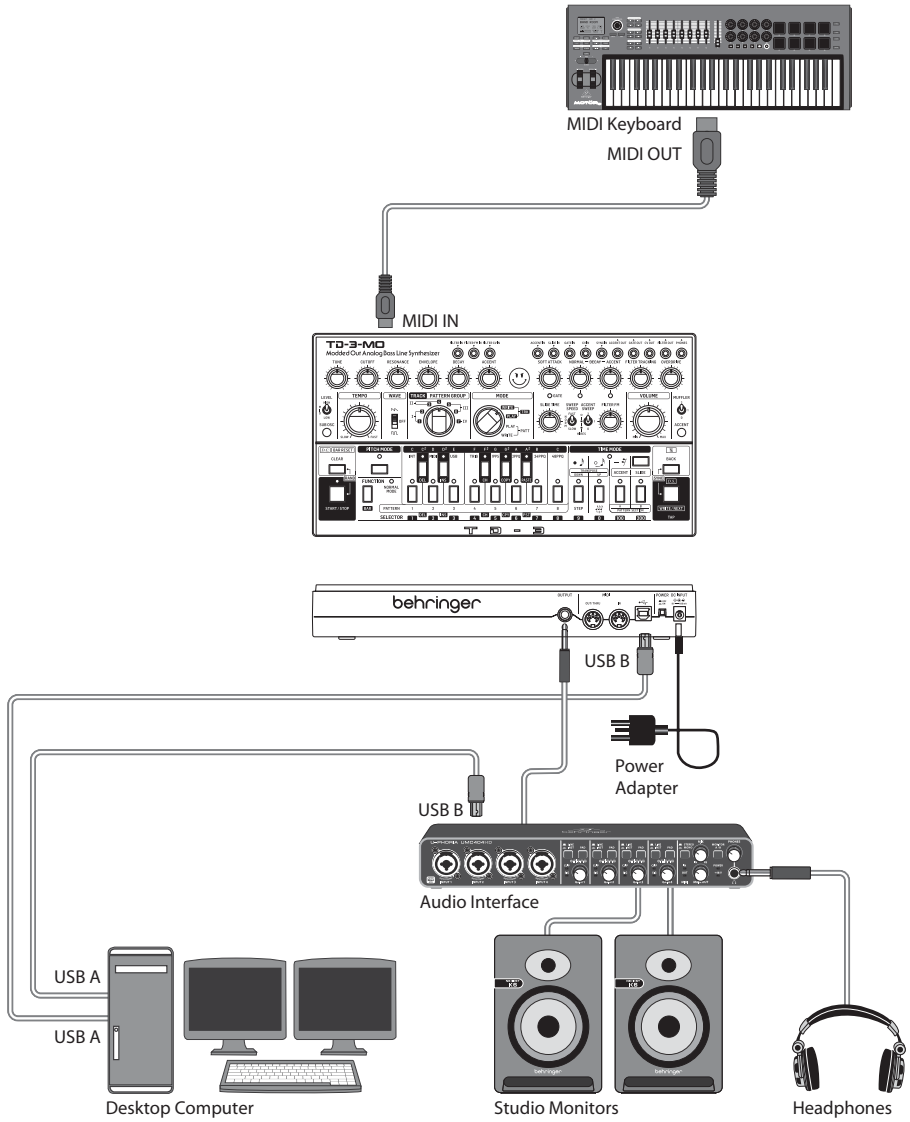
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 community.musictribe.com/pages/support#warranty にて詳細をご確認ください。

JP

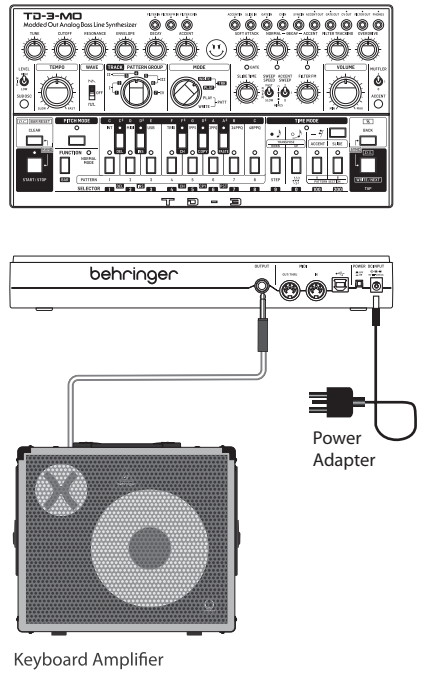
# TD-3-MO フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

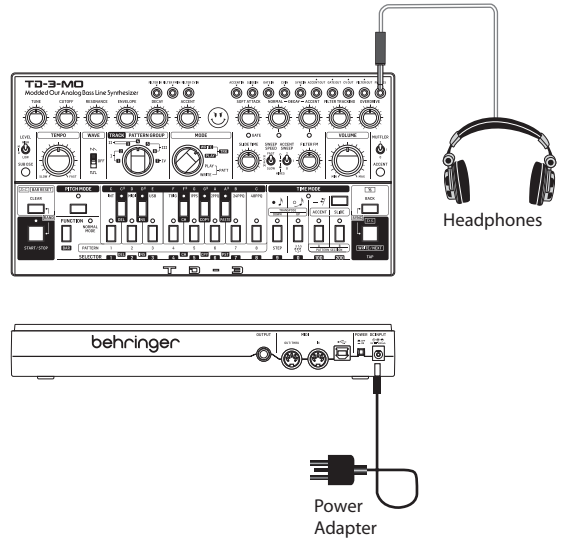
スタジオシステム




バンド/練習システム




練習システム

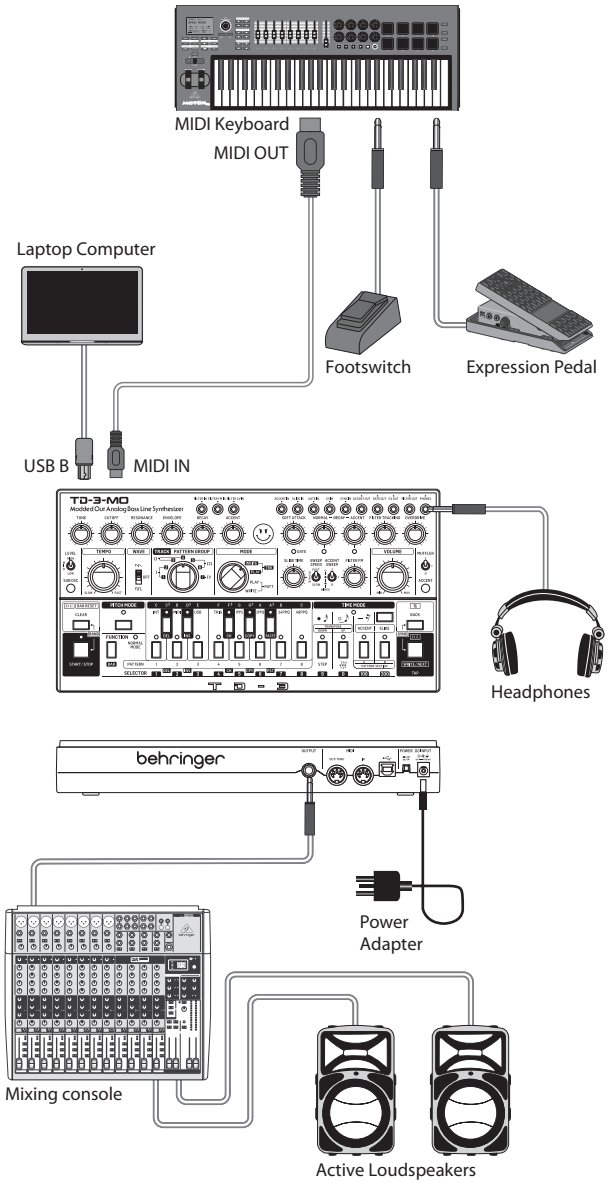


JP

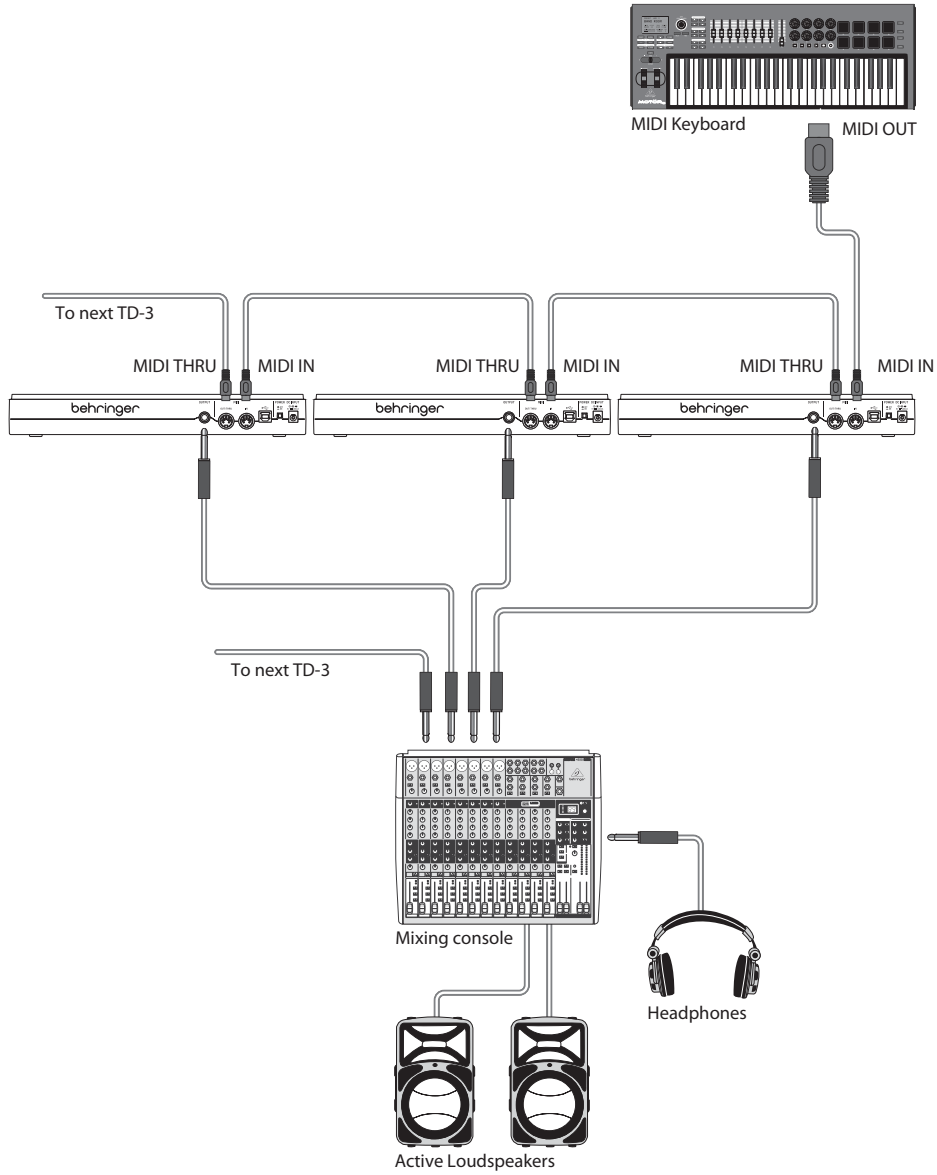
# TD-3-MO フックアップ

## ステップ 1: フックアップ

ライブシステム

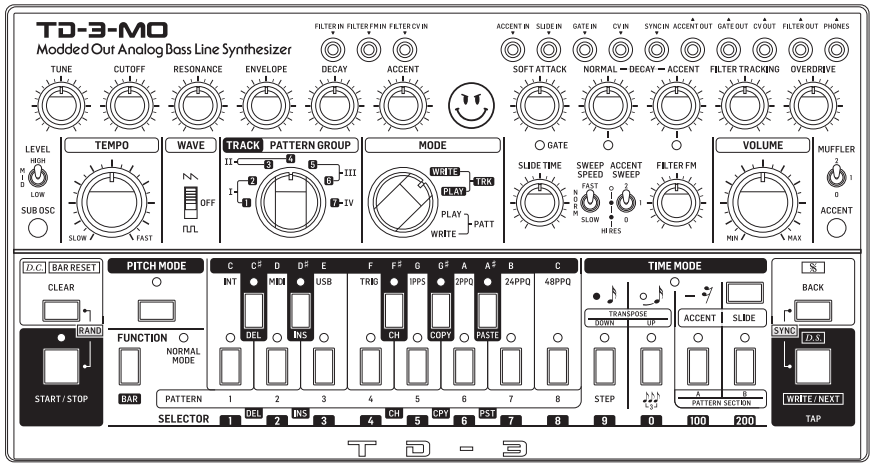


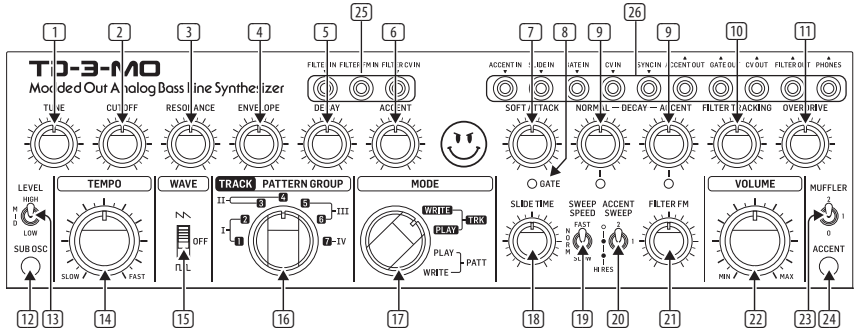

ポリチェーンシステム

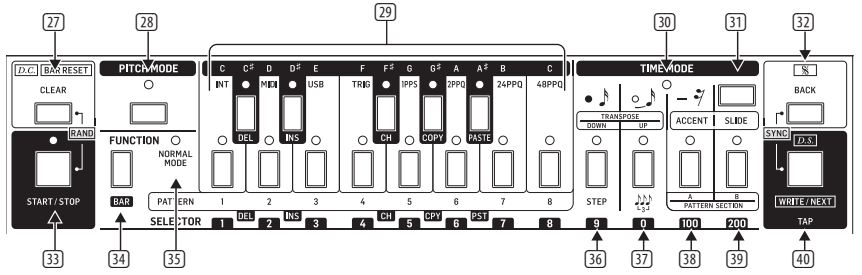


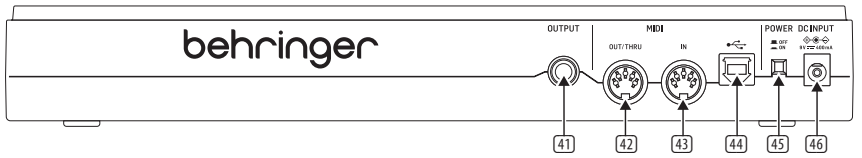
JP

# TD-3-MO コントロール




## ステップ 2: コントロール

1. **TUNE** - 内蔵 VCO オシレーターの周波数を、中央からそれぞれ約1オクターブの範囲で調節します。
2. **CUTOFF** - ローパス VCF フィルターのカットオフ周波数を調節します。高域の倍音など、カットオフを超える周波数を減衰します。
3. **RESONANCE** - 信号レベルに加えるカットオフ周波数の強調度合いを調節します。
4. **ENVELOPE** - エンベロープジェネレーターが VCF カットオフ周波数に付加する、モジュレーションの深さを選択します。
5. **DECAY** - 音量エンベロープが現在のレベルから最小に減衰するまでにかかる時間の長さを制御します。
6. **ACCENT** - アクセントをプログラムしたノートの出力に付加する、強調の程度を調節します。
7. **SOFT ATTACK** - アクセント無しのノートの、エンベロープジェネレーターアタックタイムを変化させます。
8. **GATE LED** – ゲートを赤色、ポリチェーンモードを緑色の点滅で表示します。
9. **DECAY-NORMAL and ACCENT** - ノーマルおよびアクセントノートの、VCF エンベロープジェネレーターの減衰時間を制御します。エンベロープジェネレーターの出力によって LED の輝度が変化します。
10. **FILTER TRACKING** - フィルター周波数をプレイしたノートによって変化させます。CW を回すと、より高いノートとなります。
11. **OVERDRIVE** - ディストーションのレベルを上げます。0% ではサウンドがミュートされます。
12. **SUB OSC** - サブオシレーターのオン/オフを切り替えます。
13. **SUB OSC LEVEL** - サブレベルを、ロー、ミディアム、ハイのいずれかより選択します。
14. **TEMPO** - パターンおよびトラックのテンポの緩慢を調節します。
15. **WAVEFORM** - 内蔵 VCO オシレーターの波形を逆ノコギリ波またはパルスのいずれかより選択します。"OFF" (オフ) にすると、スクエアもノコギリ波も聞こえず、サブオシレーターまたは、レゾナンスが自己発振するのみです (アクセントスウィープスイッチをポジション 1 にしてお試しください)。
16. **TRACK/PATTERN GROUP** -トラックライティングやプレイの際に TRACK1〜 7 のいずれかを選択、またはパターンライティングやプレイの際にパターングループ (PATTERN GROUP) I, II, III, IV のいずれかを選択します。グループ1のパターンはトラック 1 または 2 にのみ使用でき、グループ 2 のパターンはトラック 3 または 4、グループ III はトラック 5 または 6、そしてグループ IV はトラック 7 にのみ使用できます。
17. **MODE** - トラックライト (Track Write)、トラックプレイ (Track Play)、パターンプレイ (Pattern Play) パターンライト (Pattern Write) のいずれかを選択します。
18. **SLIDE TIME** - プレイしたノート間のスライド時間を変化させます。
19. **SWEEP SPEED** - ACCENT SWEEP の相対速度を変更します。
20. **ACCENT SWEEP** - レゾナンス量を変更します。0: アクセントスイープなし、1: ハイレゾナンス、2: ノーマル。
21. **FILTER FM** - フィルターの周波数モジュレーションの量をオーディオ出力で変化させます。
22. **VOLUME** - 背面パネル出力およびヘッドフォン出力の、出力レベルを調節します。ヘッドフォンを装着する前に、必ずボリュームを最小に下げてください。
23. **MUFFLER** - このスイッチは、VCA 出力の高域に作用します (オフおよび 2 つのソフトクリッピングモード)。ポジション 1 は高域のある部分を除去し、極大なレゾナンスを使用時にサウンドを滑らかにします。ポジション 2 は高域をさらに除去します。
24. **ACCENT** - ホールドダウンすると、各ステップにアクセントを付加します。

JP

# TD-3-MO コントロール

## ステップ 2: コントロール

### パッチベイ (3.5 mm TS 入力および出力接続)

25 フィルター入力端子

**FILTER IN** - フィルター入力。

**FILTER FM IN** - 外部オーディオ信号の周波数でフィルターをモジュレートします。

**FILTER CV IN** - フィルター周波数を制御します。

26 入力および出力

**ACCENT IN** - アクセントを制御する CV 入力

**SLIDE IN** - スライドを制御する CV 入力

**GATE IN** - ゲート入力

**CV IN** - CV 入力

**SYNC IN** - 外部クロック信号を使用する際の入力端子です。

**ACCENT OUT** - CV 出力および Gate (ゲート) 出力と併用して別の TD-3-MO を制御します。

**GATE OUT** - ゲート出力。

**CV OUT** - 1V/オクターブのコントロールボルテージ出力。

**FILTER OUT** - フィルターのラインレベル オーディオ出力。

**HEADPHONES** - ヘッドフォンを接続する 3.5 mm TRS 出力です。ヘッドフォンを装着する前に、音量を最小に下げてください。

### シーケンサー部

27 **D.C./BAR RESET/CLEAR (DC／バーリセット／クリア)** - メモリーからパターンをクリアする際、トラックの頭に戻る際に使用します。また最後のパターンをトラックに追加したことを合図します。

28 **PITCH MODE (ピッチモード)** - ピッチモードをオン／オフします。ピッチモードでは LED が点灯します。パターン作成にあたり、ノートを入力する時に使用するモードです。

29 **13 鍵キーボード** - このスイッチ群は 13 鍵キーボードになり、パターン作成時のノート選択に使用します。下の 8 つのスイッチは、パターンおよびトラックの作成、保存、選択にも使用します。

30 **TIME MODE (タイムモード) LED** - タイムモードの際に LED が点灯します。

31 **TIME MODE ON/OFF (タイムモード オン／オフ)** - タイムモードのオン／オフを選択します。このモードは、ピッチモードでノートを入力した後、タイミングの入力 (ノート、タイ、またはレスト) に使用します。

32 **BACK (バック)** - パターンをステップスルーする際、最後にプレイしたノートを選択し、編集可能な状態にするボタンです。本ボタンと "WRITE/NEXT" (書き込み／次 (35) ボタンは、シンクおよびクロック設定の閲覧および設定変更に使用します。

33 **START / STOP (スタート／ストップ)** - パターンおよびトラックの再生をスタート／ストップするボタンです。プレイ中は LED が点灯します。

34 **FUNCTION (機能)** - TD-3-MO をピッチモードあるいはタイムモードからノーマルモードへ戻す、またパターンおよびトラックの書き込み時に多様な操作をおこなう、多目的スイッチです。

35 **NORMAL MODE (ノーマルモード) LED** – ユニットがノーマルモードの間、点灯する LED です。

36 **TRANSPOSE DOWN (トランスポーズ ダウン) / ノート/STEP (ステップ)** - ピッチモードではオクターブを下げ、タイムモードではノートを入力、パターンではステップ回数を入力します。

37 **TRANSPOSE UP (トランスポーズ アップ) /タイ/三連符**- ピッチモードではオクターブを上げ、タイムモードではタイを入力、そしてパターンを三連符モードに設定します。

38 **ACCENT / PATTERN A (アクセント／パターンA)** - ピッチモードでノートにアクセントをつけ、1A、2A～ 8A までの、"A" パターンを選択します。

39 **SLIDE / PATTERN B (スライド／パターンB)** - ピッチモードで、ノートにスライドを付加し、1B、2B～ 8B までの、"B" パターンを選択します。

40 **D.S./WRITE/NEXT/TAP (D.S.／書き込み／次／タップ)** - トラックにパターンを書き込み、パターンの次のノートを選択し、タッピングにより手動でタイミングを付加します。このスイッチと BACK (戻る-27) は、シンクおよびクロック設定の閲覧および変更に使用します。

### 背面パネル

41 **OUTPUT (出力)** - お使いのシステムのラインレベル オーディオ入力を接続する、¼ インチTS出力端子です。本装置の音量が下がっており、システムの電源がオフになっていることを確認してから、接続をおこなってください。

42 **MIDI OUT/THRU (MIDI出力／スルー)** - MIDI アウトデータの出力および、MIDI 入力で受信した MIDI データのパススルーをおこなう、5 ピン DIN ジャックです。

43 **MIDI IN (MIDI 入力)** - 外部ソースから MIDI データを受信する、5 ピン DIN ジャックです。 外部ソースとは一般的に、MIDI キーボード、外部ハードウェアシーケンサー、MIDI インターフェイスを装備したコンピューターなどです。

44 **USB ポート**– コンピューターと接続するための、USB B タイプジャックです。TD-3-MO は、MIDI 入出力に対応した、クラスコンプライアント USB MIDI 機器としてコンピューターに表示されます。

**USB MIDI** 入力 – アプリケーションからの MIDI データを受信します。

**USB MIDI** 出力 – アプリケーションへ MIDI データを送信します。

45 **POWER (電源)** - シンセサイザーをオン／オフします。必要な接続をすべて完了してから、ユニットの電源を入れてください。

46 **DC INPUT (DC 入力)** - ここに付属の 9V DC 電源アダプターを接続します。電源アダプターは、100V - 240V、50 Hz/60 Hz に対応した AC コンセントに接続します。必ず付属のアダプターのみをご使用ください。

# TD-3-MO はじめに

## ステップ 3: はじめに

### 概要

本ガイドでは、TD-3-MO アナログ ベースライン シンセサイザーのセットアップ方法と、機能について簡単にご説明します。

### 接続

TD-3-MO とお使いのシステムとの接続方法は、本ガイド冒頭の接続例をご参照ください。

### ソフトウェアセットアップ

TD-3-MO は USB クラスコンプライアント MIDI 機器のため、ドライバーのインストールは不要です。
TD-3-MO は、Windows および MacOS では、追加のドライバーは不要です。

### ハードウェアセットアップ

システムの接続をすべて済ませます。いかなる接続作業においても、TD-3-MO の電源はオフにしておいてください。

必ず TD-3-MO に付属の電源アダプターをご使用ください。サウンドシステムは必ずオフにしておいてください。

TD-3-MO の電源は、パワーアンプリファーより先にオンにし、電源を切る際は最後にしてください。電源オン／オフによる、スピーカーのポップノイズや、ドンという打撃音を防ぎます。

### ウォームアップ時間

TD-3-MO を録音またはライブパフォーマンスにお使いいただく前に、15 分以上のウォームアップ時間をお取りいただくことを推奨します（温度の低い場所から運び込んだ際は、さらに時間を長くしてください）。そうすると、精密アナログ回路が通常動作温度に達する時間を確保でき、精確なパフォーマンスが得られます。

### シンクおよびクロックタイプの設定

セレクタースイッチ 1、2、3 または 4 は、 クロックソース INT（内部）、MIDI、USB または TRIG（トリガー）をそれぞれ表します。

セレクタースイッチ 5、6、7 または 8 は、クロックレート 1PPs、2PPQ、24PPQ または 48PPQ をそれぞれ表します。

1. “Function” を押します。
2. シーケンスがプレイ状態でないことを確認します。
3. “BACK” および ”WRITE/NEXT” を同時に押し、シンク設定モードに入ります。
4. セレクター 1 – 8 の LED が点灯し、現在のクロックソース (1 - 4) およびクロックレート (5 - 8) が点滅します。 必要に応じて、3 秒以内に変更を加えます：
5. セレクター 1、2、3 または 4 を押して、クロックソースを INT、MIDI、USB または TRIG のいずれかに変更します。
6. セレクター 5、6、7 または 8 を押して、クロックレートを 1PPs、2PPQ、24PPQ または 48PPQ のいずれかに変更します。
7. ボタンを押すか、または変更作業をせずに 3 秒間が過ぎると、保存されます。
8. 手順 3 を繰り返し、実行した選択を確認します。

**警告:** 外部クロックを使用しない場合は、必ずクロックソースを INT (内部)に設定します。
注意: クロックレート 24 または 48 PPQ (パルス パー クオーター) が推奨です。

### チューニング

TD-3-MO でのサウンド作成を素早く開始するには、下記の容量でチューニング機能をご使用ください。なお、このモードではノートが 1 オクターブ上にトランスポーズされますのでご注意ください。

1. VOLUME（音量）が下がっていることを確認します。
2. MODE（モード）スイッチを PATTERN PLAY（パターンプレイ）にします。
3. PITCH MODE（ピッチモード）スイッチを長押しし、PATTERN 6（パターン 6）スイッチを押します（ノートA）。
4. これで、WRITE/NEXT（書き込み／次）を押すたびに、ヘッドフォンまたはスピーカーでこのノートが聞こえるはずです。VOLUME レベルを調節し、快適なリスニングレベルに設定します。
5. TUNE（チューン）コントロールを使用し、出力周波数を正確に 220 Hz に設定します。 周波数は上下に調整でき、また他の楽器に合わせて微調整も可能です。
6. A の代わりに他のノートをチューニングする場合は、PITCH MODE を長押しし、任意のノートを押してください。
7. これで、TD-3-MO で音を出せるようになりました。シンセサイザーコントロールやディストーションで色々と試して、サウンドへの効果をお聴きください。

### 信号フロー

TD-3-MO 内部の信号パスは、下記の通り左から右へと流れると考えられます:

1. TD-3-MO には、サウンドを生成する、ボルテージコントロールドオシレーター (VCO) が 1 つ搭載されており、WAVEFORM（波形）および TUNING（チューニング）で調節します。波形は逆三角波またはパルス波のいずれかを選択します。波形によるサウンドの変化をお聴きください。
2. 次は、ボルテージコントロールドフィルター (VCF) で、CUTOFF（カットオフ）周波数および RESONANCE（レゾナンス）を調節します。カットオフ周波数や、レゾナンスコントロールを色々と試し、サウンドへの効果をお聴きください。この優れたローパスフィルターでは、TD-3-MO で作成するサウンドを大きくコントロールできます。 カットオフ周波数の上の信号レベルを減少させるので、高次の倍音のレベルを下げます。
3. RESONANCE（レゾナンス）コントロールはクロスオーバー周波数の信号を強調します。 最大に向かって回すと非常に面白い効果と、セルフオシレーションが得られます。
4. ENVELOPE（エンベロープ）および DECAY（ディケイ）コントロールは、カットオフ周波数をモジュレートすることで VCF に作用します。コントロール類は相関しているので、例えばエンベロープレベルが高いと、サウンドの減衰効果はより顕著となります。
5. ACCENT コントロールは、パターン内の、アクセントが適用されたノートのみに作用します。
6. ボルテージコントロールドアンプリファー (VCA) 出力は、DISTORTION（ディストーション）部へ移動します (ディストーション選択時)。VOLUME コントロールを使用して、ヘッドフォンおよびメイン出力のレベルを調節します。
7. ヘッドフォンを最初に装着する前に、音量レベルを低い状態にしておいてください。

### パッチベイ部

パッチベイ部では、別ユニットやモジュラーシンセサイザー機器との多様な接続および、それぞれ異なる多数のサウンドを作成します。接続は標準 3.5 mm TS 端子で、定格電圧は仕様表に記載されています。 ただし TD-3-MO はこれらの接続をしなくても操作可能です；将来的なシステム拡張にご使用ください。

**警告:** 3.5 mm 入力端子は、過入力を避けてください。これらの端子は、仕様表に記載されたものと、正確に同じレベルの電圧しか受け付けません。 3.5 mm 出力は、必ず、出力電圧に対応した入力端子にのみ接続してください。上記の指示にしたがわない場合、TD-3-MO または外部ユニットに損傷が生じる恐れがあります。

### シーケンサー部

パターン書き込みやプレイの詳細、トラック書き込みやプレイの詳細については、本ガイドの後の方の章をご覧ください。

### ファームウェアアップデート

当社ウェブサイト behringer.com を定期的にご覧になり、TD-3-MO シンセサイザーのファームウェアアップデートの有無をご確認ください。

ファームウェアファイルは、まずコンピューターにダウンロードし、それから TD-3-MO のアップデートを実行します。ファイルには、アップデート手順や詳しい指示が付属します。

### さあ、お楽しみください

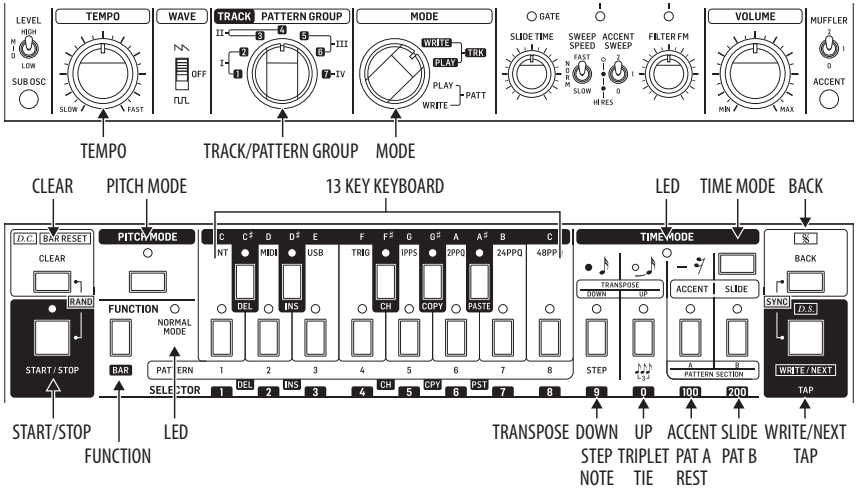
TD-3-MO には、異なるベースインストゥルメントを再現し、ベースラインを作成するための多数の便利なコントロール類があります。パッチベイによってさらなる実験と、別のユニットやモジュラーシンセサイザー機材との拡張ができます。

これらのコントロール類をお使いただくことで、音楽的創造性の可能性が無限になります!

当社は、TD-3-MO がお客様にお楽しくお使いいただけ、そしてシステムの主力として活躍できることを、心より願っております。

JP

# TD-3-MO Operation




## OVERVIEW

The following details show some of the basic operations of the TD-3-MO . Keep it simple to start with, until you become familiar with the steps required, and it becomes routine.

There are four pattern groups, I, II, III and IV.

Each pattern group can have up to eight A patterns and eight B patterns. Each pattern can have up to 16 steps. The default step is a 16th note.

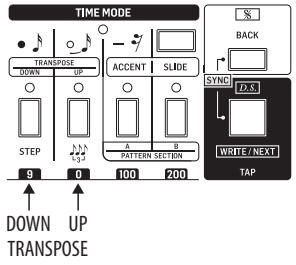
A pattern of desired notes is first entered in PITCH MODE, and then the timing of each note is added in TIME MODE.

## WRITING A PATTERN

As an example, we will program pattern 1A of pattern group I. All writing (pitch and timing) is done in PATTERN WRITE Mode.

### Writing the notes in PITCH MODE

1. Turn the MODE switch to PATTERN WRITE.
2. Turn the PATTERN GROUP switch to Group I, position 1 or 2 (it does not matter which).
3. Press FUNCTION, and the nearby NORMAL MODE LED will turn on, and one of the PATTERN switch LEDs will be flashing.
4. Press the PATTERN 1 switch (note C) and its LED will flash, showing that we are getting ready to program it. (Press it anyway, even if it is already flashing.)
5. Press the PATTERN A switch (100) and its LED will turn on (it may even be on already).
6. If PATTERN 1A already exists, press and hold the PATTERN 1 switch and then press CLEAR. If you now press START/STOP, you should not hear a pattern. (Remember to press START/STOP once more to get out of play mode.)
7. Enter the number of steps in your pattern, by holding down FUNCTION and pressing the STEP switch by the number of steps required. For example, you can press it 8 times. If you skip this step, then the pattern will be 16 steps.
8. Press PITCH MODE and its LED will turn on. Now you can enter the notes required for your pattern by pressing any of the 13 notes in the keyboard.
9. To change the octave for a note, press and hold either of the TRANSPOSE up or down switches and then press the required note.

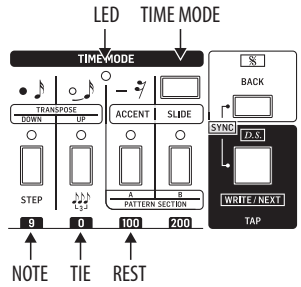



### Checking and editing notes

10. To listen to the pattern of notes, press PITCH MODE to return to the start of the pattern, and press WRITE/NEXT to play the notes one at a time. (Press PITCH MODE at any time to return to the start.)
11. To change a note that has just played, press BACK to go back to that step. Then press the new note (or to change octave, press and hold either of the TRANSPOSE up or down switches and then press the desired note).
12. Continue to press WRITE/NEXT until all notes have been played, or press PITCH MODE to return to the start, or FUNCTION to exit PITCH MODE.
13. To redo the whole pattern, repeat step 3 onwards.

### Writing the timing in TIME MODE

After all notes have been entered, you need to enter the timing of each note in TIME MODE. Note: While in TIME MODE, no sounds will be heard.




14. Press the TIME MODE switch and its LED will turn on.
15. In TIME MODE, you can play the NOTE as it is, or add a TIE, or a REST using three switches as shown above.

    For example, for 16 notes, you could press these three switches as follows: Note, Rest, Rest, Note, Tie, Note, Note, Tie, Note, Note, Tie, Note, Note, Note, Tie, Note. Whenever you reach the required number of notes (which you set in procedure 7 above), it will automatically exit TIME MODE.

    Note: To play all the notes just as they are, repeatedly press the NOTE switch until you exit TIME MODE. This will create a simple Arpeggio.

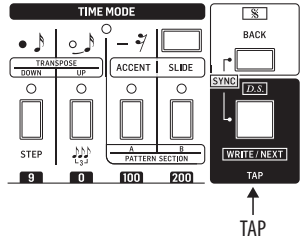
### Checking and editing timing

16. To check the timing is OK, press TIME MODE, and press WRITE/NEXT to cycle through the pattern steps, one at a time. Look at the LEDs to see which step is a note, tie, or rest.
17. To change the timing of the pattern, repeat steps 14 and 15 to re-enter the new timing. (Press TIME MODE at any time to return to the start of the pattern.)
18. Now that the notes and timing have been added, you can play the pattern by pressing FUNCTION to return to normal mode, and then press START/STOP. As the pattern repeats, you can change the TEMPO and adjust the synthesizer controls as required.

### Alternative timing method

There is another way of entering the timing:

19. Press FUNCTION and then START/STOP to play the existing pattern.




20. Press the CLEAR switch and you will hear a metronome, with a downbeat at the beginning of the pattern.
21. Tap on the TAP switch, in the timing you would like. Turn down the TEMPO if this will help. To add Sustain, press and hold down TAP.
22. Repeat steps 20 and 21 until the timing sounds good (or repeat steps 14 and 15 if you prefer this method).

### Adding or deleting ACCENT and SLIDE

23. While still in PATTERN WRITE MODE, press PITCH MODE and its LED will turn on. Press WRITE/NEXT repeatedly to play each note of the current pattern.
24. When you reach a note that you would like to add an accent or a slide to, keep holding the WRITE/NEXT(don't release it). If you go past a note you want to change, press BACK first, then press and hold WRITE/NEXT.

# TD-3-MO Operation (continued)

25. Press ACCENT and/or SLIDE as required, to add it to the note. (If these are already added to this note, they will be deleted.) Then release WRITE/NEXT.
26. The ACCENT control knob will only affect those notes that have ACCENT applied.
27. If the last note of a pattern is a slide, then:
28. In TRACK PLAY mode, this will slide to the next pattern in a track (when the pattern is added to a track).
29. In PATTERN WRITE/PLAY mode, if there is only one pattern, it will slide to the beginning of itself. If there are two or more patterns, it will slide to next pattern.

### PLAYING A PATTERN

Although you can play the patterns while the MODE switch is in the PATTERN WRITE position, use the PATTERN PLAY position during normal pattern playing. This will prevent you from accidentally erasing the patterns with the CLEAR switch.

The patterns are recalled by setting the PATTERN GROUP switch to position I, II, III, or IV and then using the PATTERN switches 1 to 8, and the A and B switches

1. Turn the MODE switch to the PATTERN PLAY position.
2. Turn the PATTERN GROUP switch to the group where your desired pattern was stored, either I, II, III, or IV.
3. Press the FUNCTION switch, and the NORMAL MODE LED will turn on.
4. Press the desired PATTERN switch 1 to 8, and its LED will flash.
5. Press the desired A or B switch and its LED will light.
6. Press the START/STOP switch to play the pattern.
7. Adjust the synthesizer controls, the TEMPO, and the distortion, and have fun.
8. If you press and hold PITCH MODE, and then press one of the 13 keys of the keyboard, the current pattern will be transposed to that key when the pattern restarts.
9. While the pattern is playing, you can press another PATTERN switch 1 to 8, or A or B and it will play that as soon as the current pattern is finished.
10. If you press and hold a PATTERN switch and then press another one at the same time, this will select both patterns and all the patterns in between, and play them in order. This is a good way of hearing multiple patterns before you make a track.

### TRACKS

After you have created a few patterns, you can add them together to form a TRACK.

1. Rotate the MODE switch to the TRACK WRITE position.
2. Rotate the TRACK switch to one of the available positions 1 to 7. This also selects the pattern group to be used. For example, TRACK 1 and 2 can only select from patterns saved in PATTERN GROUP I. TRACK 3 and 4 can only select patterns from PATTERN GROUP II.
3. Press CLEAR to reset the track to the beginning.
4. Press START/STOP, and the TD-3-MO will play the current pattern of the selected track. (Tracks are only written while the unit is playing, and not stopped.)
5. Select the first pattern to add to track. For example, if you wanted to play a previously recorded pattern 2A, press 2 (note D) then press A (labled 100), even if it is already selected, and pattern 2A should play.
6. Press WRITE/NEXT to add this to the track
7. Select the next pattern in the same way. To add a transpose, hold PITCH MODE and choose a key, and the pattern playing will change pitch to the new key.
8. Press WRITE/NEXT to enter this pattern.
9. Continue adding patterns in the same way.
10. When you reach the last pattern, press CLEAR to let the TD-3-MO know this is the last pattern in the track.
11. Press WRITE/NEXT.
12. Press START/STOP to finish.

### Playing Tracks

1. Rotate the MODE switch to the TRACK PLAY position.
2. Rotate the TRACK switch to the desired track.
3. Press CLEAR to reset the track to the beginning.
4. Press START/STOP to play the track.

### Deleting Patterns from a Track

To remove one pattern from the track, just select that Pattern number. For example, to delete the third pattern in a track:

1. Rotate the MODE switch to the TRACK WRITE position.
2. Rotate the TRACK switch to the track to be edited.
3. Select the third pattern in the track by holding FUNCTION down and pressing PATTERN 3.
4. Delete by holding FUNCTION down and then pressing DEL (C sharp).
5. Rotate the MODE switch to the TRACK PLAY position.
6. Press CLEAR to reset the track to the start.
7. Press START/STOP to play the track and listen to the changes.

### Inserting Patterns into a Track

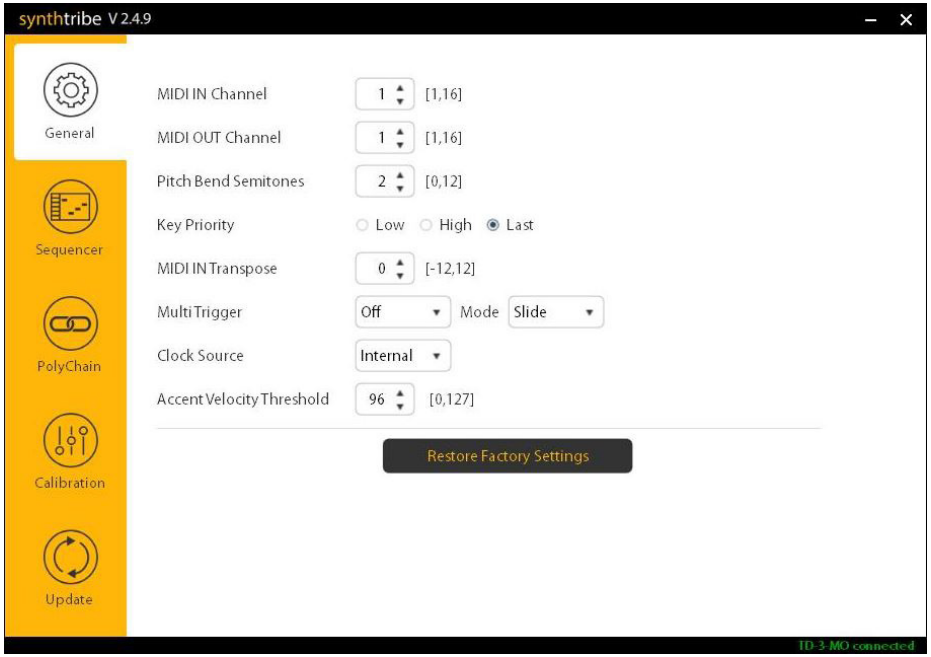
For example, to add a pattern before the 5th pattern in a track:

1. Rotate the MODE switch to the TRACK WRITE position.
2. Rotate the TRACK switch to the track to be edited.
3. Select the fifth pattern in the track by holding FUNCTION down and pressing PATTERN 5.
4. Add by holding FUNCTION down and pressing INS (D sharp). The new pattern will be added to the track.
5. Press the START/STOP switch and the current pattern added will play.
6. Select the pattern you want to play by pressing its selector 1 to 8 and the A and B switches. The selected pattern will play.
7. Press TAP to store the change.
8. Press START/STOP to stop play.
9. Rotate the MODE switch to the TRACK PLAY position.
10. Press CLEAR to reset the track to the start.
11. Press START/STOP to play the track and listen to the changes.

### Overwriting a Track

1. Existing tracks can be overwritten with a new track. It is not necessary to delete all patterns in a track when writing over an existing track with a shorter track. This is because when the new track plays its last pattern, it will automatically return to the beginning.

# Synthtribe application




当社ウェブサイト: https://www.behringer.com より “Synthtribe” アプリケーションを無料ダウンロードしてください。

それにより以下が可能になります :

- TD-3-MO のセットアップ
- シーケンサーの制御
- ポリチェインモードの設定
- キャリブレーション ルーティンの実行
- 必要に応じたファームウェアのアップデート



JP

# MIDI Information

## MIDI message

| | Status | Second | Third | Parameter | Description |
|---|---|---|---|---|---|
| Channel Message | 8n | kk | vv | [0, 7F] | Note Off |
| | 9n | kk | vv | [0, 7F] | Note On |
| | Bn | 7B | — | — | All Notes Off |
| | Bn | 4A | xx | — | Filter Cutoff |
| | En | bb | bb | [0, 3FFF] | Pitch Bend |
| SysRT | F8 | — | — | — | Timing Clock |
| | FA | — | — | — | Start |
| | FB | | | | Continue |
| | FC | | | | Stop |

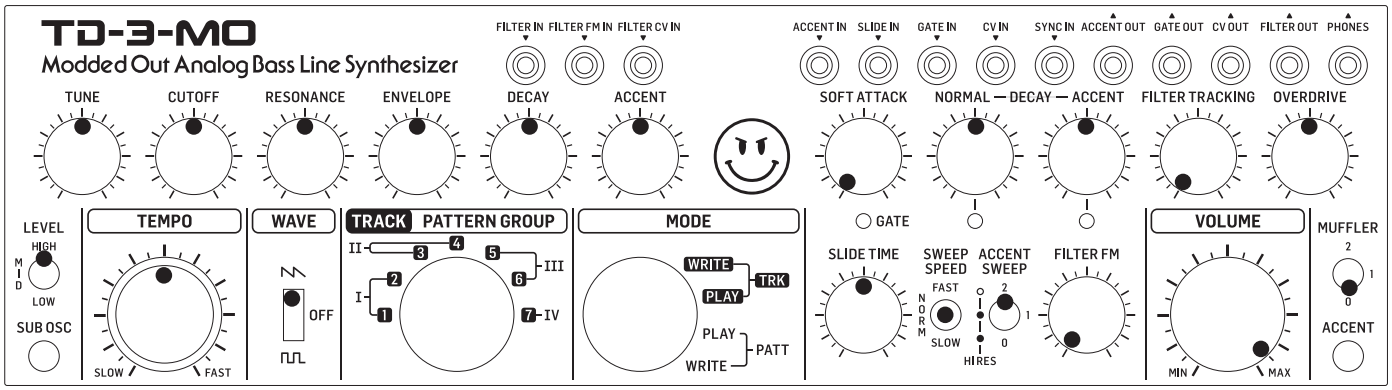
## Examples

| Function | Command[1] |
|---|---|
| Note on | 90 3C 64 |
| Note off | 80 3C 40 |
| All notes off | B0 7B |

Note: 1, MIDI input channel 1.

# TD-3-MO Default Sheet

Notes: The simplified settings shown below will help you get started making sounds with the TD-3-MO

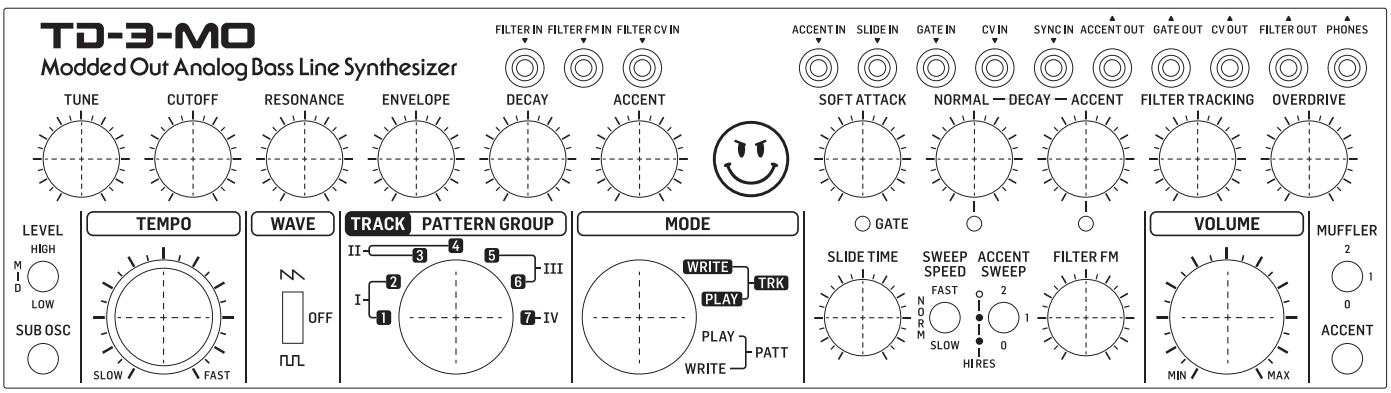



behringer

# TD-3-MO Patch Sheet

## Patch Number

| DATE: | AUTHOR: | TITLE: |
|---|---|---|
| NOTES: | | |






behringer

JP

# 技術仕様

| | |
|---|---|
| **シンセサイザーアーキテクチャ** | |
| 声の数 | モノフォニック |
| タイプ | アナログ |
| 発振器 | 1 |
| VCF | 1 ローパス |
| 封筒 | 1 |
| **接続性** | |
| 電源入力 | DC 入力コネクタ |
| 電源スイッチ | プッシュボタンのオン/オフ |
| MIDI イン/スルー | MIDI 入力および MIDI スルー、5ピン DIN |
| USB（MIDI） | USB 2.0、タイプB |
| 出力 | ライン出力：¼" TRS、不平衡、最大 +8 dBu |
| 出力インピーダンス | 1.5 kΩ |
| ヘッドホン | 3.5 mm TRS、最大 50 mW /32Ω（1 KHz、1% THD） |
| ヘッドフォンの出力インピーダンス | 15 Ω |
| **USB** | |
| タイプ | クラス準拠の USB 2.0、タイプ B |
| サポートされているオペレーティングシステム | Windows 7 以降<br>Mac OS X10.6.8 以降 |
| **入力と出力（TS 3.5 mm）** | |
| 入力 | フィルターイン：-6 V～＋6 V |
| | FM のフィルター：0 V～ ＋12 V |
| | フィルタ CV 入力：0 V～ ＋12 V |
| | アクセント入力：オフ：0 V、オン：+12 V |
| | スライドイン：オフ：0 V、オン：+3.3 V |
| | ゲートイン：オフ：0 V、オン：+3.3 V |
| | CV 入力：+1 V～ ＋5 V |
| | 同期：2.5V 以上 |
| 出力 | アクセントアウト：オフ：0 V、オン：+6 V |
| | ゲートアウト：オフ：0 V、オン：+12 V |
| | CV 出力：+1 V～ ＋5 V（1 ボルト/オクターブ） |
| | フィルターアウト：-400 mV～ ＋400 mV |



JP

| | |
|---|---|
| **電力要件** | |
| 外部電源アダプター（付属のアダプターのみ使用） | 9 VDC 670 mA |
| 消費電力 | 最大 4W |
| **環境** | |
| 動作温度範囲 | 5°C– 40°C（41°F–104°F） |
| **物理的** | |
| 寸法（H x W x D） | 56 x 305 x 165 mm（2.2 x 12 x 6.5 "） |
| 重量 | 0.9 kg（2.0 ポンド） |
| 積み込み重量 | 1.4 kg（3.1 ポンド） |

# その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

**1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:** ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230 V と 120 V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

**2. 故障:** Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにないときは、musictribe.com の “Support” 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お 客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の “Support” 内にある “Online Support” でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

**3. 電源接続**: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You

behringer